



平成30年3月期 第3四半期決算短信(IFRS)(連結)

平成30年1月30日

上場会社名 株式会社アドバンテスト
 コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/investors>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 吉田 芳明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 藤田 敦司

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	139,288	29.5	10,645	14.6	9,771	0.2	7,473	1.4	7,473	1.4	9,862	3.0
29年3月期第3四半期	107,571	7.5	9,291	43.9	9,746	51.9	7,373	176.0	7,373	176.0	9,570	244.4

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	42.13	38.52
29年3月期第3四半期	42.16	38.66

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	234,408	117,218	117,218	50.0
29年3月期	231,603	109,517	109,517	47.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		13.00		12.00	25.00
30年3月期		9.00			
30年3月期(予想)				17.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	195,000	25.1	20,000	43.8	19,000	26.5	15,000	5.6	15,000	5.6	84.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付P.4「(4)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	199,566,770 株	29年3月期	199,566,770 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	21,730,026 株	29年3月期	22,736,166 株
----------	--------------	--------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	177,360,795 株	29年3月期3Q	174,864,691 株
----------	---------------	----------	---------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況.....	P. 2
(1) 経営成績の概況.....	P. 2
(2) 財政状態の概況.....	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し.....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記.....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書.....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書.....	P. 7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書.....	P. 10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	P. 11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(セグメント情報)	P. 12
2017 年度第 3 四半期 決算(連結)の概要	P. 14

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年12月31日)の状況 (単位:億円)

	2017年3月期 第3四半期連結累計期間	2018年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	1,163	1,624	39.6%
売上高	1,076	1,393	29.5%
営業利益	93	106	14.6%
税引前四半期利益	97	98	0.2%
四半期利益	74	75	1.4%

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、全体として回復基調が維持されました。先進国では、米国経済が堅調に推移したことに加え、欧州や日本でも景気回復が加速する動きが見られました。中国などの新興諸国においても経済成長が続きました。

半導体関連市場においては、中国スマートフォンの在庫調整が長引いたことで、スマートフォンに使用される半導体に対する設備投資に盛り上がりを見せました。一方で、自動車電装化の進展を背景に、車載半導体やセンサーの需要は堅調な成長が続きました。またデータセンター向けに3次元NAND型フラッシュメモリやDRAMの需要が拡大したことで、各メモリ半導体メーカーで生産能力増強のための投資が積極的に行われました。

当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが112円(前年同期106円)、ユーロが127円(同118円)となりました。

このような事業環境のもと、当社は、活発な設備投資が進展するメモリ半導体および車載半導体向けを中心に、半導体試験装置ならびにその周辺機器の一層の拡販に取り組みました。

その結果、受注高は1,624億円(前年同期比39.6%増)、売上高は1,393億円(同29.5%増)となりました。採算性が良いスマートフォン関連半導体向け製品の売上高比率が前年同期に比べ低下したこと、製品供給能力増強に伴い外注費が増加したこと、ナノテクノロジー事業における棚卸資産の評価損が生じたことなどにより、営業利益は106億円(同14.6%増)となりました。ユーロに対するドル安の進行により、上期に欧州子会社のドル建て資産で為替差損が生じた影響で、税引前四半期利益は98億円(同0.2%増)、四半期利益は75億円(同1.4%増)となりました。海外売上比率は92.4%(前年同期88.3%)です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

(単位:億円)

	2017年3月期 第3四半期連結累計期間	2018年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	765	1,095	43.2%
売上高	701	914	30.3%
セグメント利益	122	141	15.1%

当部門では、非メモリ半導体用テストシステム事業は、車載半導体、有機ELディスプレイドライバ、液晶ディスプレイドライバ用の製品に対する堅調な需要が続きました。また期初から停滞していたスマートフォン関連の半導体試験装置需要も、2017年の年末から回復に転じました。メモリ半導体用テストシステム事業は、メモリ半導体メーカー各社で大規模な設備投資が実行されたことと、当社が市場シェアを伸ばしたことにより、受注高、売上高とも前年同期比で伸長しました。

以上により、当部門の受注高は1,095億円(前年同期比43.2%増)、売上高は914億円(同30.3%増)、セグメント利益は141億円(同15.1%増)となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位:億円)

	2017年3月期 第3四半期連結累計期間	2018年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	193	299	54.9%
売上高	162	259	59.9%
セグメント利益	△22	△26	—

当部門では、メモリ半導体メーカーにおいて生産能力増強投資が積極的に展開されていることで、メモリ半導体用テストシステムと事業関連性の高いデバイス・インタフェース製品の需要が伸びました。車載半導体の量産投資が堅調に進む中、テスト・ハンドラの需要も伸長しました。一方でナノテクノロジー事業において、当第3四半期に一部製品の量産化を中止したため、関連する棚卸資産の評価損33億円を計上しました。

以上により、当部門の受注高は299億円(前年同期比54.9%増)、売上高は259億円(同59.9%増)、セグメント損失は26億円(同4億円悪化)となりました。

<サービス他部門>

(単位:億円)

	2017年3月期 第3四半期連結累計期間	2018年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	205	230	11.9%
売上高	213	220	3.4%
セグメント利益	37	29	△21.6%

当部門では、半導体市場の活況を背景に、フィールドサービスに対する需要が安定的に推移しました。一方で、フィールドサービスやSSDテスト事業で、今後の事業基盤拡大に向けた体制強化を行いました。

以上により、当部門の受注高は230億円(前年同期比11.9%増)、売上高は220億円(同3.4%増)、セグメント利益は29億円(同21.6%減)となりました。

(2) 財政状態の概況

当第3四半期末の総資産は、前年度末比28億円増加し、2,344億円となりました。この主な要因は、棚卸資産が59億円増加したこと、現金および現金同等物が33億円減少したことなどによります。負債合計は、社債の償還により150億円減少したこと、退職給付に係る負債が34億円、主に前受金の増加によりその他流動負債が31億円、営業債務およびその他の債務が14億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比49億円減少し、1,172億円となりました。また、資本合計は1,172億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比2.7ポイント増加し、50.0%となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第3四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より33億円減少し、921億円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益98億円を計上したことに加え、営業債権およびその他の債権の減少(23億円)、棚卸資産の増加(△53億円)に、減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、131億円の収入(前年同期は、120億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億円の支出（前年同期は、24億円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（△23億円）および有形固定資産の売却による収入（19億円）によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、171億円の支出（前年同期は、30億円の支出）となりました。これは主に、社債の償還による支出（△150億円）および配当金の支払（△36億円）によるものであります。

（4）今後の見通し

AIやIoTの利用拡大とそれを支えるデータセンターの能力増強、自動車への先進運転支援システムの採用拡大、高機能なスマートフォンの一層の普及、第5世代移動通信システムの実用化など、より快適・安全な社会の実現を目指す流れが、今後の半導体市場およびその関連市場の成長を主導すると想定しています。

当社の主たる収益基盤である半導体試験装置市場の先行きを展望しますと、非メモリ半導体用テストシステムは、車載半導体およびディスプレイドライバ向けは堅調な事業環境が続くと予想しています。また今期停滞していたスマートフォン関連の試験装置需要が2017年の年末から持ち直しており、第4四半期の一層の市況改善を見込んでいます。

メモリ半導体用テストシステムは、メモリ半導体に対する旺盛な需要が当面持続すると見込まれているなか、大手顧客の生産能力増強投資も高い水準が続くと予想しています。

このような見通しを踏まえ、当社は、より良好な事業環境が見込まれる第4四半期に、一層の業績改善を予想しています。通期連結業績予想は、第3四半期連結累計期間までの収益進捗、各事業における受注動向、直近の為替の状況を踏まえ、売上高は2017年10月時点の1,800億円から1,950億円へ修正します。営業利益は180億円から200億円、税引前利益は170億円から190億円、当期利益は145億円から150億円へ、それぞれ修正します。通期連結業績予想の前提とした為替レートは、米ドルが111円、ユーロが129円です。

この良好な事業環境は、来年度も継続する見通しです。これをさらなる成長のための好機と捉え、顧客サポートの強化や製品生産能力の増強を通じた販売機会の拡大と市場シェアの改善に努めます。また並行して中長期的な成長分野に対する開発投資を進め、持続的な成長に向けた事業基盤強化に取り組んでまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	95,324	92,073
営業債権およびその他の債権	32,451	30,806
棚卸資産	39,093	44,984
その他の流動資産	2,976	5,315
(小計)	169,844	173,178
売却目的で保有する資産	1,295	851
流動資産合計	171,139	174,029
非流動資産		
有形固定資産	29,915	29,002
のれんおよび無形資産	16,479	16,801
その他の金融資産	3,625	2,708
繰延税金資産	10,282	11,443
その他の非流動資産	163	425
非流動資産合計	60,464	60,379
資産合計	231,603	234,408

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	28,489	29,872
社債	15,000	-
未払法人所得税	1,927	2,829
引当金	1,643	2,470
その他の金融負債	626	1,492
その他の流動負債	3,749	6,853
流動負債合計	51,434	43,516
非流動負債		
社債	29,745	29,840
その他の金融負債	39	6
退職給付に係る負債	38,865	42,226
繰延税金負債	420	335
その他の非流動負債	1,583	1,267
非流動負債合計	70,652	73,674
負債合計	122,086	117,190
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	44,319	43,925
自己株式	△ 86,039	△ 82,230
利益剰余金	113,676	115,573
その他の資本の構成要素	5,198	7,587
親会社の所有者に帰属する持分合計	109,517	117,218
資本合計	109,517	117,218
負債および資本合計	231,603	234,408

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
売上高	107,571	139,288
売上原価	△ 43,167	△ 70,540
売上総利益	64,404	68,748
販売費および一般管理費	△ 55,275	△ 58,736
その他の収益	306	686
その他の費用	△ 144	△ 53
営業利益	9,291	10,645
金融収益	621	684
金融費用	△ 166	△ 1,558
税引前四半期利益	9,746	9,771
法人所得税費用	△ 2,373	△ 2,298
四半期利益	<u>7,373</u>	<u>7,473</u>
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	7,373	7,473
1株当たり四半期利益		
基本的	42.16円	42.13円
希薄化後	38.66円	38.52円

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)
売上高	31,376	50,876
売上原価	△ 13,317	△ 27,584
売上総利益	18,059	23,292
販売費および一般管理費	△ 17,147	△ 20,148
その他の収益	75	108
その他の費用	△ 14	△ 19
営業利益	973	3,233
金融収益	79	198
金融費用	△ 421	△ 32
税引前四半期利益	631	3,399
法人所得税費用	△ 519	△ 852
四半期利益	112	2,547
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	112	2,547
1株当たり四半期利益		
基本的	0.64円	14.33円
希薄化後	0.64円	13.09円

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期利益	7,373	7,473
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,113	2,933
売却可能金融資産の公正価値の純変動	84	△ 544
税引後その他の包括利益	2,197	2,389
四半期包括利益	9,570	9,862
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	9,570	9,862

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)
四半期利益	112	2,547
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	12,126	1,731
売却可能金融資産の公正価値の純変動	271	14
税引後その他の包括利益	12,397	1,745
四半期包括利益	12,509	4,292
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	12,509	4,292

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年12月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2016年4月1日 残高	32,363	44,478	△ 94,585	105,190	6,173	93,619	93,619
四半期利益				7,373		7,373	7,373
その他の包括利益					2,197	2,197	2,197
四半期包括利益	-	-	-	7,373	2,197	9,570	9,570
自己株式の取得			△ 1			△ 1	△ 1
自己株式の処分		△ 275	2,989	△ 1,762		952	952
配当金				△ 4,022		△ 4,022	△ 4,022
株式に基づく報酬取引		437				437	437
所有者との取引額等合計	-	162	2,988	△ 5,784	-	△ 2,634	△ 2,634
2016年12月31日 残高	32,363	44,640	△ 91,597	106,779	8,370	100,555	100,555

当第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2017年4月1日 残高	32,363	44,319	△ 86,039	113,676	5,198	109,517	109,517
四半期利益				7,473		7,473	7,473
その他の包括利益					2,389	2,389	2,389
四半期包括利益	-	-	-	7,473	2,389	9,862	9,862
自己株式の取得			△ 2			△ 2	△ 2
自己株式の処分		△ 415	3,811	△ 1,857		1,539	1,539
配当金				△ 3,719		△ 3,719	△ 3,719
株式に基づく報酬取引		21				21	21
所有者との取引額等合計	-	△ 394	3,809	△ 5,576	-	△ 2,161	△ 2,161
2017年12月31日 残高	32,363	43,925	△ 82,230	115,573	7,587	117,218	117,218

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	9,746	9,771
減価償却費および償却費	3,507	3,601
売却可能金融資産売却益	△ 226	△ 353
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	4,638	2,279
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 6,816	△ 5,279
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	△ 956	928
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△ 102	822
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,550	1,617
その他	3,382	2,789
小計	14,723	16,175
利息および配当金の受取額	243	381
利息の支払額	△ 95	△ 48
法人所得税の支払額	△ 2,841	△ 3,406
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	12,030	13,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
売却可能金融資産の売却による収入	626	879
売却可能金融資産の取得による支出	-	△ 216
有形固定資産の売却による収入	83	1,866
有形固定資産の取得による支出	△ 2,927	△ 2,281
無形資産の取得による支出	△ 266	△ 557
その他	47	△ 158
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 2,437	△ 467
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	946	1,545
社債の償還による支出	-	△ 15,000
配当金の支払額	△ 3,863	△ 3,636
その他	△ 43	△ 10
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 2,960	△ 17,101
現金および現金同等物に係る換算差額	603	1,215
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	7,236	△ 3,251
現金および現金同等物の期首残高	85,430	95,324
現金および現金同等物の四半期末残高	92,666	92,073

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	70,122	16,171	21,278	—	107,571
セグメント間の売上高	4	34	—	△ 38	—
合計	70,126	16,205	21,278	△ 38	107,571
セグメント利益(調整前営業利益)	12,248	△ 2,190	3,742	△ 4,072	9,728
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	△ 437
営業利益	—	—	—	—	9,291
金融収益	—	—	—	—	621
金融費用	—	—	—	—	△ 166
税引前四半期利益	—	—	—	—	9,746

当第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	91,377	25,908	22,003	—	139,288
セグメント間の売上高	26	—	—	△ 26	—
合計	91,403	25,908	22,003	△ 26	139,288
セグメント利益(調整前営業利益)	14,097	△ 2,585	2,933	△ 3,779	10,666
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	△ 21
営業利益	—	—	—	—	10,645
金融収益	—	—	—	—	684
金融費用	—	—	—	—	△ 1,558
税引前四半期利益	—	—	—	—	9,771

前第3四半期連結会計期間(自2016年10月1日至2016年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	18,788	5,314	7,274	—	31,376
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	18,788	5,314	7,274	—	31,376
セグメント利益(調整前営業利益)	741	△780	2,148	△874	1,235
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	△262
営業利益	—	—	—	—	973
金融収益	—	—	—	—	79
金融費用	—	—	—	—	△421
税引前四半期利益	—	—	—	—	631

当第3四半期連結会計期間(自2017年10月1日至2017年12月31日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	33,741	9,063	8,072	—	50,876
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	33,741	9,063	8,072	—	50,876
セグメント利益(調整前営業利益)	6,410	△3,236	1,800	△1,720	3,254
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	△21
営業利益	—	—	—	—	3,233
金融収益	—	—	—	—	198
金融費用	—	—	—	—	△32
税引前四半期利益	—	—	—	—	3,399

- (注) 1. 当社グループは、ストック・オプション費用調整前営業利益(△損失)をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。
2. 報告セグメントの利益は、ストック・オプション費用調整前営業利益(△損失)をベースとしております。
3. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。
4. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2017年度第3四半期 決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位: 億円)

	2016年度 実績	2017年度実績						2017年度業績予想	
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	通期	前年度比
受注高	1,647	494	562	568	1.0%	1,624	39.6%	(1,880)	33.6%
受注残	422	509	594	653	9.9%	653	54.9%	(502)	59.2%

(注) 上段()の数値は、2017年10月25日発表時の予想であります。

2. 損益

(単位: 億円)

	2016年度 実績	2017年度実績						2017年度業績予想	
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	1,559	407	477	509	6.6%	1,393	29.5%	(1,800)	25.1%
売上原価	△ 662	△ 201	△ 228	△ 277	20.8%	△ 706	63.4%	-	-
販売費および一般管理費	△ 761	△ 185	△ 201	△ 201	△ 0.1%	△ 587	6.3%	-	-
その他の収益	5	1	4	2	△ 78.4%	7	124.2%	-	-
その他の費用	△ 2	△ 0	△ 0	△ 1	18.8%	△ 1	△ 63.2%	-	-
営業利益 (売上高比率)	139 (8.9%)	22 (5.5%)	52 (10.9%)	32 (6.4%)	△ 37.7%	106 (7.6%)	14.6%	(180) 200 (10.3%)	43.8%
金融収益・金融費用	11	△ 6	△ 4	2	-	△ 8	-	-	-
税引前当期利益 (売上高比率)	150 (9.6%)	16 (3.9%)	48 (10.1%)	34 (6.7%)	△ 29.3%	98 (7.0%)	0.2%	(170) 190 (9.7%)	26.5%
法人所得税費用	△ 8	△ 6	△ 9	△ 8	△ 2.1%	△ 23	△ 3.2%	-	-
当期利益 (売上高比率)	142 (9.1%)	10 (2.4%)	39 (8.2%)	26 (5.0%)	△ 35.3%	75 (5.4%)	1.4%	(145) 150 (7.7%)	5.6%

(注) 上段()の数値は、2017年10月25日発表時の予想であります。

3. 財政状態

(単位: 億円)

	2016年度 実績	2017年度実績			
		4Q末	1Q末	2Q末	3Q末
総資産	2,316	2,175	2,287	2,344	2.5%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	1,095	1,093	1,139	1,172	2.9%
親会社所有者帰属持分比率	47.3%	50.3%	49.8%	50.0%	-

4. 配当の状況

(単位: 円)

(基準日)	2016年度実績			2017年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	13.00	12.00	25.00	9.00	17.00	26.00